

送信条件: 9600bps、パリティ無し、8bit、ストップビット1bit

コマンドの構成
送信コマンド

P I C : 0 CR

コマンドの最後にはCRコード(0Dh)を置きます
 パラメーター: 設定するパラメーターなどを置きます。
 コマンドとパラメーターの間には、「:」を置きます。
 コマンド: 英文字3文字のコマンドを置きます。(小文字は不可)
 ヘッダー: 先頭には必ず「#」を置きます。

リターン(正常時)

= P I C : 0 CR

コマンドの最後にはCRコード(0Dh)が入ります。
 パラメーター: 調整・設定系コマンドでは実際に調整・設定された値が入ります。
 実行系コマンドでは、「SC0」の文字が入ります。
 コマンドとパラメーターの間には、「:」が入ります。
 コマンド: 実行したコマンドが入ります。
 ヘッダー: リターンの先頭には「=」が入ります。

リターン(エラー時) = E R 0 CR

設定コマンド
値を指定するとき

P I C : 1 CR

設定したい値を置きます。

実行コマンド

P O F CR

リターン(正常時) = P O F : S C 0 CR

情報取得コマンド

S P S CR

リターン(正常時) = S L T : 3 H 1 5 M CR
 = S S V : B 0 2 - M 0 5 - L 0 1 CR

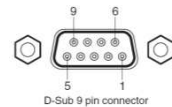
時間を表すときは、「3H15M」(3時間15分)の形式でリターンします。
 DDP、MCU、LANバージョンの順番でリターンします。

<注意>

電源オフ時のコマンドには、以下の制限があります。
 電源オフ時には、PON、SPS、SERコマンドのみを受け付けます。
 電源オン・オフ時などに、コマンドに対するリターン以外の文字が出力されることがあります。

コネクタ端子配置図

ピン番号	
1	NC
2	送信データ
3	受信データ
4	NC
5	GND
6	NC
7	NC
8	NC
9	NC



D-Sub 9 pin connector

コネクタタイプ: オス

NC-何も接続しないでください

	コマンド	基本コマンド 実行または 設定値取得	パラメーター指定 [Prm]にはパラメー ターを設定。	設定できるパラメーター 調整値の範囲	備考
実行コマンド					
電源オン	PON	#PON[CR]			
電源オフ	POF	#POF[CR]			
設定コマンド					
映像モード	PIC	#PIC[CR]		0~2	
明るさ優先=0			#PIC:0[CR]		
標準=1			#PIC:1[CR]		
ナチュラル=2			#PIC:2[CR]		
AVミュート	MUT	#MUT[CR]		0~1	
切り=0			#MUT:0[CR]		
入り=1			#MUT:1[CR]		
入力切替(ダイレクト)	INP	#INP[CR]		3~10	欠番あり。モデルにより選べる入力が異なります。
コンピューター1=3			#INP:3[CR]		
コンピューター2=5			#INP:5[CR]		
HDMI 1/MHL=6			#INP:6[CR]		
HDMI 2=7			#INP:7[CR]		
Displayport=8			#INP:8[CR]		
ビデオ=9			#INP:9[CR]		
S-ビデオ=10			#INP:10[CR]		
情報取得コマンド					
動作状態	SPS	#SPS[CR]			0:スタンバイ 1:投影準備中 5:通常オン 7:冷却中
信号入力	SIS	#SIS[CR]			0:コンピューター1、1:コンピューター2、2:ビデオ、3:S ビデオ、4:HDMI
エラー	SER	#SER[CR]			0:正常動作 0以外:エラー(1:ランプ 4:Fan 8:温度 16:CW)
ランプ時間	SLT	#SLT[CR]			=SLT3H15M(3時間15分)の型でリターン。
本体使用時間	STT	#STT[CR]			ランプ時間と同じ形式でリターンされます。
ソフトウェアバージョン	SSV	#SSV[CR]			DDP,MCU,LANの順でバージョンがリターンされます。